

横浜市交通政策推進協議会

第 20 回モビリティマネジメント推進部会 会議要旨

日時	令和 5 年 4 月 28 日（金）18:00～19:40
開催場所	横浜市役所 18 階共用会議室（みなと 5）
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廣瀬 哲哉（横浜の公共交通活性化をめざす会） ・ 平山 世志衣（横浜交通まちづくり協議会） ・ 古川 洋（特定非営利活動法人横浜に L R T を走らせる会） ・ 竹内 佑一（特定非営利活動法人エコエネルギーによる地域交通システム推進協会） ・ 戸松 綾子（特定非営利活動法人びーのびーの） ・ 小池 由美 ・ 渡邊 聡 ・ 横浜市都市整備局都市交通課（事務局）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市交通政策推進協議会（令和 4 年 12 月開催）について【報告】 2 令和 4 年度横浜市のモビリティマネジメント取組について 3 モビリティマネジメント推進部会での取組の中間振り返り・今後のスケジュールについて

議事要旨

※以下、モビリティマネジメント→MMと記載

<ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市交通政策推進協議会（令和 4 年 12 月開催）について【報告】 2 令和 4 年度横浜市のモビリティマネジメント取組について <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より資料 1 「横浜市交通政策推進協議会 次第・名簿」、資料 2 「令和 4 年度横浜市のモビリティマネジメント取組について」の説明を行った。 	
（議事要旨）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区別バスマップについて、現在は区別でしかマップを確認できないが、インターネット上では市全体が見られ、閲覧者が自由に見たい地域を拡大できるようになるといい。 ・ MM出前授業について、学校側の感想は聞いているか。 →授業後に先生へアンケートを実施しており、「授業を実施してよかった」などの声をいただいている。令和 5 年度も引き続き実施していく予定。
<ol style="list-style-type: none"> 3 モビリティマネジメント推進部会での取組の中間振り返り・今後のスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より資料 3 「取組中間振り返り・今後のスケジュール」の説明を行った。 	
（議事要旨）	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 高校でのMM出前授業を見据えたツールの内容検討・活用について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での活用を踏まえ、教育委員会の意見を聞き、反映しながらツールを作成していく必要がある。 ・ 「総合的な探求の時間」でのツール活用を見据える場合、生徒がテーマを探す時期に合わせてPRする必要がある。

- ・公共交通の利用者数の変化だけでなく、レンタカーやシェアサイクルへの利用の変化など、様々な視点で情報を用意し提供する必要がある。
- ・探求の過程で学生が求める情報を市や区が提供できることが重要。
- ・前述とは逆に、学生に公共交通の課題や今後のあり方などの情報を与えるという形で、学生がMMツールを活用していくという進め方ではなく、探求の時間なのだから、テーマを考える段階から学生と共に検討し、その後のMMツール作成・活用方法も学生に任せるという進め方でも良いのではないか。
- ・公共交通の現状課題を学生と共に考え、それを踏まえて今後公共交通を維持するためにはどうしたらよいか、それをこの取組を通じて学生に考えてもらいたい。その考えが発信され持続可能な公共交通の実現に寄与することが、まさにMMと考える。
- ・環境の側面だけでなく、経済性（費用、時間など）の観点も内容に盛り込む必要がある。

◎ 小中学校でのMM出前授業での授業教材の内容更新検討について

- ・次回の部会活動では、現在の授業教材をそれぞれ確認し追加・修正すべき内容について意見交換を行うこととなった。

4 その他

- ・令和4年度時点でのMM部会の取組継続案件（鉄道駅におけるバス乗換案内の充実化など）について、引き続き部会で取り組んでいくことを確認した。
- ・今後の部会活動について、委員からの申出があればオンラインでの出席も可能とすることを確認した。

以上